

一般質問通告書

通告順番 6 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 アクセス鉄道中間駅建設で、建設地域をどう均衡ある発展につなげるのか	町長はアクセス鉄道の整備に伴い、中間駅構想を打ち出しているが、中間駅の予定地は優良農地である。又、地下水涵養に非常に貢献している農地でもある。町長の中間駅構想に反対をするわけではないが、農家にとって生活を営む大事な農地であり、農家に寄り添った対応策を町長に問う。 （１）中間駅構想での利用面積は何ヘクタールを見込んでいるのか （２）中間駅構想を考えるに当たり南小学校校区の農地の圃場整備を検討し、大規模農地に圃場整備する考えはないか （３）中間駅構想での地下水涵養はどうするか	町 長
2 地球温暖化が進む中で、白川と矢護川水系の農家は干ばつに苦しんでいる	ここ数年、地球温暖化などの異常気象が世界各地で起きているのが現状だ。今年は6月初旬に梅雨明け後、高温と小雨が8月初旬まで続き、白川の水量が例年の6割まで減り、白川の水を利用している農家は水が水田に流れないので、干ばつになり稲や畑作物が枯れる事態になっている。 町長は干ばつ対策をどう解決するのかを問う。 （１）地球温暖化での干ばつは毎年繰り返されると考えられるため、干ばつ対策をどう進めていくのか （２）生活用水と水田。畑の用水としての多目的ため池を造る考えは （３）傷みがひどい畑井手堰や上井手堰の改修工事はどうするのか	町 長
3 立野ダムによる、毎回起きる流木等の被害に町はどう対応策を講じるのか	8月10日～11日の大雨で立野ダムには大量の流木や砂等がダム湖畔に留まり、11日の夕方から小雨になると同時に、立野ダム湖畔に堆積した流木や砂、火山灰の「よな」が排水口から、私たちが農業を営む畑井手堰や上井手堰や下井手堰に流れて堆積し、堰の水門をふさいでしまい、下流に流水が出来ない状態になった。通水するため、流木の撤去作業に毎回、時間を割かなければならない。町としての対応策を町長に問う。 （１）立野ダム事務所は流木対策をすると畑井手の農家には言っていたが、何もされていないため、町長が先頭に立ち立野ダム事務所と交渉をする考えはあるか	町 長

一般質問通告書

通告順番 6 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	(2) 流木や石、土砂で河川入口がふさがれたため、撤去費負担を考えて貰いたい (3) 大雨の時はダムの3水門を閉じて、流木を撤去後の通水を立野ダム事務所に改善依頼を町長はするべきであると思うが、対応する考えはあるか	